

ミスミグループ本社 2026 年 3 月期第 2 四半期(中間期) 連結業績

～独自施策効果により関税/為替影響を吸収、Fictiv Inc.連結で売上伸長
収益性は、施策効果あるも、成長に必要な支出継続と Fictiv Inc.買収により減益～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2026 年 3 月期中間連結会計期間(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下のとおりです。

(百万円)	2025 年 3 月期 中間期	2026 年 3 月期 中間期	増減率
売上高	198,022	205,814	+3.9%
のれん償却前 営業利益 ※	23,390	20,481	▲12.4%
営業利益	23,390	19,618	▲16.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	18,200	13,997	▲23.1%
1 株当たり中間純利益	65.21 円	51.06 円	

※ Fictiv Inc.買収にかかるのれん償却前営業利益

1. 2026 年 3 月期中間連結会計期間の連結業績ハイライト

- 当中間連結会計期間における世界経済は、アメリカの関税政策やそれに伴う各国への影響、不安定な為替相場など先行き不透明な状況が継続しました。これにより主要顧客産業である自動車関連の稼働低迷の影響を受けました。一方、中国・アジアを中心に、通信関連や電子・電機関連等需要は堅調に推移しました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用しながら、新商品・新サービスを含む新事業開発を継続し、顧客の需要を的確に捉えることに努めましたが、一部地域においてはアメリカの関税政策による需要低迷の影響を受けました。
- この結果、連結売上高は 205,814 百万円、前年同期比 3.9%増(現地通貨ベース 5.7%増)となりました。利益面につきましては、独自施策による数量増等の改善効果はあるものの、持続的成長に向けた施策に関わる支出の継続、為替影響および 7 月から Fictiv Inc.の業績を連結範囲に含めた影響により、営業利益は 19,618 百万円(前年同期比 16.1%減)、経常利益は 20,397 百万円(前年同期比 19.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は 13,997 百万円(前年同期比 23.1%減)となりました。

2. 自動車関連需要低迷継続により金型部品は前年比微減も、FA/VONA は成長確保

- 2026 年 3 月期中間連結会計期間のセグメント別売上高は、以下のとおりとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2025 年 3 月期 中間期	2026 年 3 月期 中間期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	66,854	72,743	+8.8%	+10.5%
金型部品事業	42,819	42,573	▲0.6%	+2.3%
VONA事業	88,347	90,498	+2.4%	+3.8%
合計	198,022	205,814	+3.9%	+5.7%

- FA事業は、日本の設備投資需要が低調に推移も、中国の通信関連需要の攻略をはじめ、meviy、エコノミーシリーズ、D-JIT 等の独自施策による需要獲得で海外地域が総じて堅調に推移、また、7 月から Fictiv Inc.の業績を連結対象としました。
- 金型部品事業は、中国・アジアの成長が、自動車関連の需要低迷で弱含むその他地域をカバーするも、売上高は前年同期に届きませんでした。
- VONA事業は、中国・アジアを中心に堅調に推移しました。

3. 日本、欧州は関税影響受け減収

- 2026 年 3 月期中間連結会計期間の地域別売上高は、以下のとおりとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2025 年 3 月期 中間期	2026 年 3 月期 中間期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	85,831	84,504	▲1.5%	—
海外	112,190	121,309	+8.1%	+11.3%
中国	39,462	42,339	+7.3%	+11.3%
アジア	31,929	33,284	+4.2%	+7.1%
アメリカ	22,324	27,593	+23.6%	+27.6%
欧州	13,713	13,144	▲4.1%	▲5.5%
その他	4,760	4,947	+3.9%	+11.0%

4. 第 2 四半期末の配当金は 18 円 02 銭、前年比 1 円 81 銭減も、通期は増配見通し

- 当社グループは、社員の挑戦を起点として、顧客であるものづくり産業※¹の持続的成長へ貢献し、社会の持続的発展を支える、成長連鎖経営を志向しております。この実現に向けて、地域・事業・新商品・新サービス開発等へ積極的な成長投資を行い、顧客時間価値向上に貢献する事業モデルの進化に取り組んでいます。また、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、更なる資本効率向上に注力し、エクイティスプレッド拡大を目指しております。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主還元は、バランスをとりながら実施してまいります。

- 配当に関しては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向35%を基準としていることから、当第2四半期末の1株当たり配当金を18円02銭(前年比1円81銭減)とさせていただきます。期末配当予想につきましては、2026年3月期連結業績予想の修正により、1株当たり期末配当金を25円62銭(前年比2円24銭増)に修正し、年間配当金は1株当たり43円64銭の見込みとなります。

※1:当社が定義するものづくり産業とは、製品開発から設備製造、量産に及ぶ領域であり、従来の製造業や自動化産業にとどまらず、より広い範囲を対象としています。

		年間配当金		
		第2四半期末	期末	合計
前回予想			21円54銭	39円25銭
	配当性向		35.0%	35.0%
今回修正予想			25円62銭	43円64銭
	配当性向		35.0%	35.0%
当期実績		18円02銭		
	配当性向	35.0%		
前期実績		19円83銭	23円38銭	43円21銭
	配当性向	30.0%	35.0%	32.5%

5. 2026年3月期連結業績予想を修正

- 当中間連結会計期間につきましては、アメリカの関税影響を受け自動車関連産業は低調に推移し、日本・欧州を中心に不透明な状況が継続しました。一方、7月より業績を連結範囲に加えた Fictiv Inc.を含む独自施策は概ね計画通りに推移しました。

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、足元の為替動向や Fictiv Inc.の業績堅調を勘案し、以下のとおり修正いたします。

なお、今後事業環境の変化等により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2026年3月期 連結業績予想の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	422,000	42,900	43,300	30,800	112.12
今回予想(B)	432,000	45,500	46,300	33,900	124.67
増減額(B-A)	+10,000	+2,600	+3,000	+3,100	
増減率(%)	+2.4%	+6.1%	+6.9%	+10.1%	
前期実績	401,987	46,480	49,901	36,549	131.95

注)2025年10月1日から2026年3月31日までの期間における平均為替レートについては、米ドル:145.0円、ユーロ:171.0円、人民元:20.4円を前提としております。

[業績予想に関する留意事項]

本資料に掲載されている2026年3月期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2026年3月期中間連結会計期間の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 インベスター・リレーション室 Tel: 03-6777-7501 Fax: 03-5211-7502 mail: cc@misumi.co.jp
--